業界の重要課題説明

全管連 岸田首相を表敬訪問

災害復旧・若者入職で激励

全国管工事業協同組合連合会の藤川幸造会長は3月30日、広島県連の高原豊明理事長らと岸田文雄首相を表敬訪問した。席上、藤川会長は昨年12月に自民党水道事業促進議員連盟に提出した要望書を示し、全国の会員による災害復旧活動や魅力ある業界に向けた若年者の入職促進など当面の重要課題について説明。これを受けて岸田首相はライフラインの確保に重要な役割を果たしている全管連の取り組みに理解を示し、さらなる活躍への期待を込めて激励した。

粕谷専務、平本副理事長、藤川会長、岸田首相、原副会長、高原理事長

全管連の所属業者数はピーク時の2001年の約2万3千社から約1万5千社に減少している。このため総務・経理合同部会を中心に組織の実態に即した体制整備に向けて議論を重ねてきた。

1月17日に東京・港区の品川プリンスホテルで開かれた第349回理事会では全管連組織の抜本的な見直しに関する定款・規約改正案を承認。これを踏まえ、6月の理事会の前に臨時総会を開いて新たな役員・副会長の定数やブロック長制の導入、総務・経理・経営・災害対策担当副会長）、平本和雄広島市管工事業協同組合副理事長、粕谷明博全管連専務理事らが同行した。

藤川会長の話に耳を傾ける岸田首相

岸田首相との懇談では藤川会長が「自民党水道議連の川崎二郎前会長、田村憲久現会長をはじめ議連の先生方には、たいへんお世話になっている」と感謝の意を伝えるとともに、昨年12月17日の田村会長への要望書の写しを示し、管工事業界における重要課題について説明した。

とくに全国各地の管工事組合の組合員は大規模地震などの災害時に真っ先に現場に駆けつけて応急復旧工事などに従事しているものの、会員数の激減で今後の応急復旧体制の維持が心配され、若者の入職促進へ魅力ある業界づくりに取り組んでいると表明。また組合員以外の工事業者の中には悪質な業者もおり、適切な対策が求められていると強調した。

藤川会長の説明に熱心に耳を傾けていた岸田首相は国民のライフラインを維持するために頑張ってもらいたいと激励し、全管連の取り組みに十分な理解を示した。

広報・事業・技術の6部門の部会への一本化による業務運営のあり方などを正式に決議する。一定の周知・調整期間を設けて令和5年度から新体制に移行し、よりコンパクトで風通しがよくアクティブな組織へ邁進していく方針だ。

今回の岸田首相への表敬訪問は広島県連の高原理事長（全管連理事・事業副部長）の尽力によって実現した。当日は藤川会長をはじめ、高原広島県連理事長、原宣幸神奈川県連会長（全管連総務

脱炭素社会貢献へ戦略的指針

下水道政策研究委小委 グリーンイノベーション実現

花木委員長

下水道政策研究委員会の「脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会」（委員長・花木啓祐東洋大学情報連携学部教授）は3月31日、持続可能な脱炭素・循環型社会への転換を促進するグリーンイノベーション下水道の実現に向けた報告書をまとめた。下水道管理者である地方公共団体関係者などが戦略的な取り組みを進める際の指針として活用することを期待している。

国土交通省下水道部と公益社団法人日本下水道協会で組織する下水道政策研究委は国民の期待に応える下水道事業のあり方などを検討している。

昨年7月に国土交通グリーンチャレンジが示されたことなどを踏まえ、10月に同小委を設けて下水道分野でも地球温暖化対策計画の2030年度目標達成や2050年カーボンニュートラル実現に貢献できるよう議論を進めてきた。

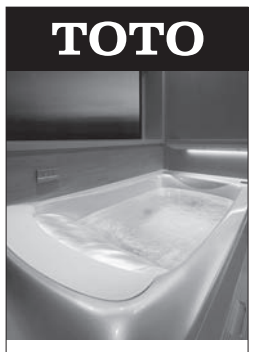
今回まとめた報告書では脱炭素社会に向けて下水道がめざすべき将来像を提示。下水道施設の省エネ化、再生可能エネルギーの徹底活用、下水道のポテンシャルを最大活用した再生可能エネルギーの供給、炭素・栄養塩の好循環などを推進し、多様な主体との協働化を図りつつ地域の活性化・強靭化やまちづくり・国際社会の脱炭素化などを牽引していく。

とくに目標達成へ強化すべき取り組みとして①地域の活性化・強靭化に貢献する循環システムの選択②効率的なエネルギー利用と良好な水質確保の両立③取り組みの加速化・連携拡大に向けた環境整備④脱炭素化を支えるシステム・技術のイノベーション⑤技術の競争力強化と戦略的な国際展開――などを打ち出している。

日本設備工業新聞

発行所
（株）日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031　野元第1ビル
電話（03）3496−4774㈹
FAX（03）3464−1884
info@setubikougyo.co.jp
年極8,800円（税・送料込）

TOTO



システムバスルーム シンラ
SYNLA
TOTOホームページ
https://jp.toto.com

小泉グループは、これからも住設機器の多様化に対応する
品揃え、供給・サービス体制をさらに充実させていきます。

人・街・未来へ

住宅設備の総合商社
株式会社小泉

本社：〒167-8555　東京都杉並区荻窪4-32-5　☎03-3393-2511（代）URL:https:www.koizumig.co.jp

KOIZUMI GROUP

■㈱小泉
第一仕入センター／第二仕入センター／第三仕入センター／物流センター／商品開発部／金属事業部／環境事業部／住宅設備事業部／エンジニアリング事業部

■㈱小泉東北
本社／郡山営業所／会津営業所／石巻営業所／仙台南営業所／福島営業所

■㈱小泉中央
本社／城西営業所／練馬営業所／世田谷営業所／城南営業所／足立営業所／城北営業所／城東営業所／板橋営業所／広域特販営業所

■㈱小泉多摩
本社／八王子営業所／府中営業所／清瀬営業所／青梅営業所／立川営業所／町田営業所／三鷹営業所／多摩特販営業所／昭島営業所

■㈱小泉東関東
本社／宇都宮営業所／船橋営業所／千葉営業所／勝田営業所／柏営業所／木更津営業所／那須営業所／成田営業所／流山営業所／高萩営業所／古河営業所／守谷営業所／下館営業所／鹿沼営業所／習志野営業所／水戸営業所／市原営業所／千葉北営業所

■㈱小泉北関東
本社／太田営業所／大宮営業所／前橋営業所／狭山営業所／小川営業所／本庄営業所／秩父営業所／坂戸営業所／春日部営業所／久喜営業所／熊谷営業所／越谷営業所／埼玉南営業所／北本営業所／高崎営業所／ふじみ野営業所

■㈱小泉中部
本社／諏訪営業所／富士吉田営業所／佐久営業所／甲府西営業所／長野営業所／上田営業所／伊那営業所／松本営業所／長野北営業所

■㈱小泉神奈川
本社／第二営業部特販営業所／横浜西営業所／大船営業所／泉営業所／川崎北営業所／川崎南営業所／港南営業所／横須賀営業所／旭営業所

■㈱小泉相模
本社／特販営業所／相模原営業所／相模台営業所／相模西営業所／平塚営業所／藤沢営業所／茅ケ崎営業所

■㈱小泉東海
本社／沼津営業所　富士営業所／藤枝営業所／清水営業所／御殿場営業所／富士宮営業所／浜松営業所／掛川営業所

■本社営業部

■㈱ジャパンエコロジー

■綜合電材㈱
本社／特販営業所

■㈱住建
本社／上田営業所

■プロストック
仙台南店／仙台中野店／仙台北店／太田店／戸田店／入間店／川越店／さいたま上尾店／朝霞店／足立鹿浜店／東大和店／東久留米店／府中店／本厚木店／相模原店／横浜戸塚店／横浜中山店／藤沢店／柏店／千葉稲毛店／千葉市川店／野田店／Nguyen Dinh Chinh店

■いずみテクノス㈱
本社／横浜営業所／千葉営業所／埼玉営業所／千葉営業所

■㈱リフォームプラザ小泉
本社／荻窪店／立川店／埼玉店

■㈱クリンテック小泉

■小泉商事㈱

■㈱田無タワー

■ハナカントリー・インユーイングトラベルサービス

■小泉長坂上海貿易有限公司

■南通小泉機電有限公司

■㈱小泉コリア

■小泉ベトナムトレーディング

■㈱有田ユニテム